

福井支部ニュース

2023年度 第2号

日本科学者会議福井支部

連絡先: 山本雅彦、masahiko@mbp.nifty.com

郵便振込口座番号 00710-9-17967 日本科学者会議福井支部

支部ホームページ <https://jsafukui.net/>

科学者会議本部 <http://www.jsa.gr.jp/>

今号の内容

- ◆ 第2回 JSA 福井支部幹事会の概要報告 (山根 清志)
- ◆ 随想 古本屋のひとりごと (5) (高木 秀男)
- ◆ 時事評論 岸田政権とデジタル後進国の実相 (その2) (小倉 久和)

2023年度 JSA 福井支部 第2回幹事会の概要報告]

7月10日(月)18:00 から、Zoom によるオンライン方式で JSA 福井支部第2回幹事会が開催された。ほぼ定刻に開始、山本事務局長により事前に提示されていた議題案に沿って進行した。

1. 全国第54回定期大会について

第1回幹事会(6/20)で、全国定期総会の運営や人事案件が難航したこと等をめぐってさまざまな意見があったが、主に山本代表幹事、小野幹事から、事態の正確な把握を期すために、若干の補足説明ないし追加説明がなされた。

2. 支部例会

(1) 原発 使用済み核燃料の問題

- ・使用済み核燃料の県外搬出

福島第1原発事故後の13年、原発の運転期間を「原則40年、最大延長20年」とするルールが定められた。それへの対応が福井県内でも美浜原発3号機、高浜原発1、2号機において20年秋以降すめられてきたが、県は使用済み核燃料が県内にとどまることを警戒してきた。そこで、県に対して関電は2021年、中間貯蔵施設の県外候補地を23年末までに確定できなければ、3基の運転を停止すると約束していた。これに対し、使用済み核燃料の搬出先について関電が6月12日に県に示した提案は、高浜原発に貯蔵される使用済み核燃料のごく一部(5%)を20年代後半にフランスに運ぶと説明した。そしてそれを「県外に搬出されるという意味で中間貯蔵と同等の意義がある」と言いつのり、21年の約束は「ひとまず果たされた」との認識を示したのだった。これは福井県民を愚弄するものである。

これに加えて、使用済み核燃料(MOX燃料のフランスでの再処理を含む)のコストについて、フランスでの再処理に伴うプルトニウム核不拡散の問題について、などの諸点について、小野一幹事にオンラインによる市民公開型の支部例会で講演してもらうという提案があり、10~11月くらいを目途で行う方向で検討することが了承された。

(2) 新会員の報告による例会

木戸聡幹事に敦賀空襲について8月11日午後あたりでやってもらおうということになった(Zoomによるオンラインを予定)。

(3) 島崎邦彦元原子力規制委員会委員長代理の近著「3.11 大津波の対策を邪魔した男たち」(青志社 2023.4)を使って意見交換会を行う、或いは「読書会」を開催する。

- ・同著の入手方法に関する案内があった。

(4) 樋口英明元福井地方裁判所長のドキュメンタリー映画「原発をとめた裁判長」(約90分)の映画鑑賞・意見交換会

- ・とりあえずオール福井反原発連絡会でやることを検討してみる。

(5) 勝山市の学校です進む統廃合問題

- ・関係者に報告してもらえないか。
- ・反対署名が6000名くらい集まっている。
- ・市議選でも議論になっていて、関係者に原稿を依頼し了解をもらったが、例会での報告は選挙の後になると思われる。

(6) 熊本地震と原発、断層の問題

- ・岡本拓夫・福井高専嘱託教授の新聞記事「県内、ひずみ集中帯に」（福井新聞、2023.6.29（木））によれば、熊本だけでなく福井の問題でもありそうだ。もと会員であった岡本拓夫氏に山本事務局長が連絡をとってみることになった。

3. 北陸シンポについて

- ・遅くとも9月には会議をしなければならないが、現在のところ試案は無し。北陸3県で共通の課題となり得ることがあるだろうか。冬場の融雪装置と地下水の関係といったようなテーマが石川、富山でも可能か？などの意見があった。

4. 「福井支部結成50周年記念特大号」の発行について

- ・高木座長が議事進行。山本富士夫、山本雅彦、小野一の三氏が原発問題についての寄稿を予定している他、高木氏自身から、「『福井の科学者』に見る福井支部の活動」、「学問の自由と福井工大事件」を執筆したいとの意思表示がなされた。また、伊藤幹事からは、「『福井の科学者』に見る福祉・医療分野の実践と研究」の執筆意思が表明された。
- ・「中池見湿地問題の課題と現状（仮題）」を笹木会員にお願いしたいと思っているとの森幹事の発言のほか、執筆してもらいたい人の名として、弁護士笠原、海道の両氏、平野医師、佐藤正雄氏等の名前があげられた。

5. 機関誌について

- ・『日本の科学者』について
- ・『福井の科学者』について

次回、時間をとって議論してもらうことになった。

6. 会計と会員拡大について

- ・担当の伊藤幹事から、現時点での福井支部の極めて厳しい財政状況が訴えられた。
- ・山本代表幹事からは、日本科学者会議というのは、日本学術会議の協力団体で、これは非常に誇りにすべきことである。そのことを盛り込んだ訴え文を作成して大学院生等の若手を会員拡大できないものか、との発言があった。

7. その他

- ・7月7日（金）、福井県立大学で、日本学術会議中部地区会議の学術講演会が開催（オンラインでも配信）された。梶田隆章会長も挨拶に見え、学生も入れて約350人が聴講した。「食と健康の最前線」をテーマに県立大学の3名の教員がそれぞれの分野から講演した。（山本代表幹事からの報告）。

回次の第3回幹事会は8月7日（月）18：00からとし、議題は特大号の件にしばって行うことになった。

第2回幹事会の参加幹事は9名、閉会は約8時30分であった。

（山根 清志）

支部ニュースへの寄稿・投稿を

支部ニュースを支部会員間の交流の場とするため、積極的な寄稿・投稿をお願いします。

◆ジャーナル評論：「日本の科学者」「福井の科学者」の評論

◆時事評論、意見・見解

◆活動報告・経験報告・事例紹介

◆行事案内、会員への案内・お知らせ

その他、エッセー、書評、文芸作品の紹介など、何でも支部ニュース

担当者までメールでお送り下さい。yamane@f-edu.u-fukui.ac.jp

ogura@u-fukui.ac.jp

〔随想〕 古本屋のひとりごと（５）

美術館や博物館で古美術を鑑賞する機会は誰でもあると思うが、古美術品を購入しようとするコレクターは多くはない。古美術品は一般的に高価で、専門的知識がないとその価値の見極めが難しいからである。お金があっても見る目がないと、優品を入手することは困難である。

さて古美術品を手に入れるにはどうすればいいか。古美術店やリサイクル店を訪れるか、骨董市に行くかヤフーオークション（ヤフオク）などのオークションに参加するのが普通であろう。老舗の古美術店は敷居が高く入りにくいし、リサイクル店にはあまり良いものがありそうもない。一方、大きな骨董市にはたくさんの店がでて、見るだけでも楽しめ多くの人が集まる。最近では経済成長を背景に中国人バイヤーの姿が目立つ。ヤフオクは誰でも参加できるので多くの人が楽しんでいるが、写真だけで真贋や価値を見極めなければならないのでリスクを伴う。

骨董市で探すにしろ、ヤフオクで探すにしろ、掘り出し物を入手するチャンスより偽物をつかまされる危険の方がはるかに大きい。それはよく分かっている、コレクターも人間なので、どこかに掘り出し物が眠っていないかと探し、自分の知識と鑑識眼を信じて大枚をはたいて、たいてい高い授業料を払うことになる。

しかし一方で、無欲の人が掘り出し物に遭遇した例も確かに存在する。2013年3月、米ニューヨークの競売大手のサザビーズに白い茶碗が出品された。その茶碗は、持ち主がガレージセールで見つけ3ドル（当時のレートで約285円）で購入したものである。茶碗を友人に見せたところ、「これは中国宋時代（960～1279）の定窯の白磁かもしれない。もしそうなら非常に高価なものなので、一度サザビーズに持ち込んで鑑定してもらったらどうか」と言われた。

持ち主がサザビーズに持ち込むと、茶碗は定窯白磁の本物と鑑定され、オークションにかけることになった。オークションにかける場合、その品物のおおよその価値をサザビーズが提示してセリにかける。サザビーズが

示した予想価格は20～30万ドル（1900～2850万円）であった。そして落札された金額は、サザビーズの予想価格をはるかに超える222万ドル（約2億1000万円）となった。落札者はロンドンの著名なアートディーラーだという。

中国陶磁のなかでも宋時代に作られたものは、以前から最高と評価されており、象牙色の美しい定窯白磁もその一つであった。落札された茶碗と同じ時代に作られたものは、大英博物館に70年以上前から展示されているものが一つあるだけだという。それが、落札価格を跳ね上げさせた理由だったようだ。このような掘り出しのエピソードは例外中の例外であるが、相場の十分の一くらいで入手する掘り出しを夢見るのが一般のコレクターであろう。

だが古美術の世界には贋作があふれている。たとえばヤフオクの絵画や掛軸の出品を見てみれば、怪しい「有名画家の作品」が並んでいる。テレビの「開運なんでも鑑定団」でも、本物と信じて高額で買った絵が贋作と鑑定されるのは珍しくない。そう言う私自身も贋作や本物でない品を買ったことは何度かある。その一例が平安時代の経切「戸隠切」である。手鑑に貼られるような経切の優品は非常に高価である。写経は楷書で書くのが普通であるが、私は癖のある行書で書かれた「戸隠切」が好きで、以前から入手したいと思っていた。それが時たまヤフオクに出品されたので、つい手が出てしまった。しかし、それは精巧な複製品、すなわち印刷であった。でも安い授業料ですんだのは幸いだった。ちなみに法華経の残闕である「戸隠切」の巻第一（2巻）、巻第二、巻第四の4巻は、国の重要文化財に指定されている。

（高木秀男）

2023年度後期の会費納入をお願いします

今年度後期の会費をお願いします。また、過去の未納会費のある方は、分納でも結構ですので、至急納入をお願いします。

【時事評論】岸田政権とデジタル後進国の実相（その2）

◆チャット GPT でデジタル後進性を示す日本政府

生成 AI のチャット GPT が日本にも上陸し産業界や教育界など多方面で利用が進められている。開発した OpenAI 社の CEO サム・アルトマン氏が来日し岸田首相と面談、首相は満面のえみで興味津々、前のめりだった。松野官房長が機密保護や情報漏洩に対する検討を表明したりしているが、個人情報保護などの社会的視点は非常に薄い。

ところで、政府はマイクロソフト（MS）からチャット GPT の提供を受け、国会答弁や議事録の作成などでの活用を検討している。MS が東日本設置のデータセンターで管理するから機密性の高い情報の処理を国内だけで行える、というが、米国政府へはだだ洩れた。今まで国会答弁は官僚の作文を読んでいたが、これからは AI の生成した作文で答弁するらしい

（事前のレクチャも AI?）。文科省は、「生成 AI の使用法などに慣れることは生産性向上にメリットがあるが、試験で使わせたり感想文作成に使うのは不適切」などとピントの外れたガイドラインを出した。

「まず使って慣れよう」とだけ言うのは「後進性」のさが丸出しである。（「後進国」は「発展途上の国」の意味で使われるが、ここでは「後進」は文字通り「後から進む」の意味で使う。）欧米ではチャット GPT に対するデータ保護規制が重大課題になっており、来日したアルトマン氏自身が生成 AI について懸念を表明していた。米国では生成 AI にかかわって、俳優や監督など映画製作者が個人情報保護などを訴えて大規模なストライキを敢行していて、著名な俳優まで参加しているという。生成 AI を利用することを前提するとしても、技術的な側面だけでなく、「先進国」で問題となっている個人データ保護などの問題・課題を、彼らよりも先んじて考え「先進」する気がないのかと思う。

◆マイナカードの混乱は、指導的政官財トップのデジタル後進性の結果

前回の時評（その1）で紹介したが、コロナ禍が始まった 2020 年初めに突然決まった国民 1 人当たり 10 万円給付を巡って、自治体での給付作業に大きな遅れが出ると「識者」が「マイナカードを使わないからだ」と主張し、カードによる申請窓口で混乱を生じると「だから IT 後進国なんだ」

と非難した。官邸も混乱させた自治体や慣れていない国民に責任を転嫁した。しかし、「デジタル後進性」を暴露しているのは他ならぬ「識者」であり、政官財のトップである。混乱の原因は「世帯」給付を個人が申請する政策にある。自治体は住民台帳 DB を基に世帯と世帯主を抽出し申請往復ハガキを印刷・送付する、という過去の経験で対応した（それでも混乱したが）。しかし、マイナカードで申請するには、カードと紐づけられた本人の世帯と世帯主を特定し、紐付け口座を確認し、そして、2 重給付を防ぐために申請ハガキが返送されてないか他の世帯メンバーが既に申請してないか、などのチェックも必要である。しかしカードによる申請登録システムにはこのような窓口業務が「想定外」だった。カードが魔法のように働くわけではなく、仕掛けのシステムが必要である。カードを「魔法の杖」と信じているらしき「識者」や「官邸」は、システム開発を丸投げされて「蜜」を中抜きして下請けに出した業界も、「後進性」では同列だ。

マイナ保険証の誤登録トラブルの発覚で河野デジタル担当大臣が「ログアウトしない状態で他の人が操作したためで、操作ミス・人為的ミスである。件数は極めて少ない、チェック体制を整えたい。」などと責任を現場に転嫁した。台湾のオードリ・タン デジタル担当大臣ほどでなくてもいいが、このデジタル担当大臣発言は「後進性」の「標本」としか思えない発言だ。人為的ミスをなくすのはデジタル化の重要な目的の 1 つで、こんな問題・課題はそれこそ「100 年」も前に分っていたことである。

ところで、実は、政府の公文書のデジタル化は殆ど進展していない。もともと公文書を狭く定義して、その上、隠蔽、改ざん、廃棄、「のり弁」と、「人手」を無駄に浪費する。もしデジタル化したら、チャット GPT に指示するだけで改ざんできる？改ざん前のものは「米国」に依頼すれば入手できる！

（小倉 久和）

＜＜編集後記＞＞

遅れましたが、2023 年度福井支部ニュース第 2 号をお届けします。

ニュース原稿が不足気味です。各位の積極的な投稿をお願いします。

台風 6 号が沖縄に来襲、全国各地ではゲリラ豪雨による冠水・浸水が起きていますが、ここ福井では 7 月下旬からの猛烈な暑さが 8 月に入っても続いており、編集子もかなりバテ気味です。各位におかれては熱中症対策など、身体に気を付けてお過ごし下さい。

（OG）